

介護現場の実態から読み解く！ 「業務改革で人材定着を目指す方法」 ～働き方改革をどう介護現場に活かすか～

講師 ふくしえん社労士事務所 代表 後藤 功太

介護事業所の「人が集まらない・育たない」を解消し人材定着を目指す！

職員定着に向けて経営層の皆様を知ってほしい現場スタッフの本音、職員が辞めない、働きやすい職場づくりのポイントをご紹介します。

- ・年間500名以上の介護リーダーを見てきた！介護事業所の現状とは
- ・スタッフは何を求めているのか？
- ・スタッフを集める前に陥りがちな落とし穴とは？
- ・介護人材定着メソッド
- ・人材定着における三種の神器
- ・承認溢れる職場づくりの作り方
- ・費用を抑えて採用戦略を練る方法
- ・働き方改革の制度の活かし方



【研修内容】

介護事業所にとって、現在一番の経営課題は人材確保であり、人材確保に目途がつかないと経営課題の大半が解決されると言っても過言ではないくらい最重要課題であります。人手が足りないことで満足のいくサービスが提供できず、それによって利用者の方にも負担がかかってしまう。そうした光景を見て「自分のやりたい介護ができない」という思いから離職してしまう。この悪循環が、人手不足を起こしている原因の一つに考えられます。

この研修では、介護現場経験のある社会保険労務士から、「現場に合った採用・育成・定着のアップ術」を学び、介護事業所の「人が集まらない・育たない」の解消のヒントを得たいと思います。

また働き方改革制度を理解したうえで、どのように現場に活かすかを解説していきます。

ふくしえん社労士事務所 代表 後藤 功太

小学3年生の頃から「介護の仕事がしたい」という希望を抱き、大学卒業後は介護業界で主な業務に就く。質問によって社員に気付きを与え、本音を引き出す手法で業務改善に着手。年間平均50%の稼働率であった短期入所生活介護を、1年で98%まで改善。職場改革を抜本的に行った結果、離職率を1年で20%から5%に改善させる。

ふくしえん社労士事務所を設立後は、介護・医療事業者を中心に採用から育成、定着までの仕組み作りの一環として、人事評価制度構築、マニュアル作成、研修事業を展開。コミュニケーション改善による社員の人間関係構築・離職率を低減し、人事評価・労務環境の改善による社員のモチベーションや定着率向上の支援をしている。

企業への認知が広がり、企業向けの職場コミュニケーション改善や社員モチベーションアップ、チームマネジメントなどをテーマとした研修・セミナーを北は北海道、南は沖縄まで全国で実施中。豊富な事例と分かりやすさを追求した内容は、「すぐに実践できそう」「まるで自分のことを言われているみたい」という声を頂く。

<著書>

『介護医療施設でスタッフがスグに辞めない職場づくり57の秘策』（セルバ出版）

『そのマネジメントでは新入社員はスグに辞めてしまいます！』（アニモ出版）

『ダメリーダーでもできた！チームを動かす5つステップ』（秀和システム）